

3・21 横浜「浮浪者」差別虐待糾弾!! 2周年追悼反撃集會に圧倒的な参加を!!

横浜で「浮浪者」を殺した少年連は、今、世論の発火点にあっていますが、あの子連を一方的に責める大人もずらいと思います。

「浮浪者」を殺した人がバケツの水をぶっかけて追い散らしたり、警官が野良犬でもしかるようになったりして、いるのをたびたび見ました。あの子連は、ブレイキがきかないまま殺してしまっただけでしょうか。あの職員や警察官の行為とそんなに違わないと思います。大人が悪いお手本を見せておきながら、今になって少年連を血祭りにあげているみたい。

16歳の少女の新聞投書より(1983・2月)

1983年2月、背筋の凍る思いをした横浜「浮浪者」連続虐殺事件が起きた。中学生を含む少年連が仕事にアフレ野宿を余儀なくされている日雇労働者を連続的に襲撃し、3人を虐殺したのだ。

虐殺事件から二年ノ、事件の本質は解明されず事件そのものは解決したのだろうか?新聞には子供連の痛まし、出口なき「事件」が毎日のように掲載されている。構造的には「虐殺事件」と同じ本質の病根をはらみながら……又、虐殺された側は二年前と同じように日々、100名以上が関内地下街・横浜スタジアム等で野宿を強制されている現実。それに加えて、去る2月6日のテレビで、「浮浪者」虐殺事件から二年と題して、差別虐殺を煽動する発言がなされた。

ウロウロしている彼らは、人間の格好をしているけれど人間ではない。中学生が彼らを処分してくれたけど拍手大喝采のラブコールがおきた。もう一度あんな事件がおきてくれないかと話す人もいる。日本カモシカの話がありますね。カモシカは林業をやっている人にとっては木を食べて困る。生命尊重派は生命を守れというが現実の人は困る問題だ。それと同じ問題だ。何をか言わんノ虐殺事件から二年:「浮浪者」虐殺事件は終っていないのだ。

子供は社会の鏡。何が少年連を導いて虐殺にたがったのかノ逮捕直後の①ブリーターノ狩り、②なんで逮捕されるのか、③町をきれいに等々の言葉に端的であり、正に差別が人を殺す時代への突入だ。

行政責任はどうであったのかノ市当局曰く、①事件の本質は非行問題であり、人権教育の徹底をやる。②差別があったとは思いたくない。③極めつけは人間への思いやりであった。その結果、加害者は監獄へ。被害者への生命は一人3万円ですり去られ、環境文化の下で、年に3回の狩りが定着した。

あれから二年ノ「戦後史の秘決算」を宣言した中曽根は、①防衛、②治安、③教育、④行軍、⑤天皇等々を国家主義的イデオロギーに基づき再編しながら、労働の解体及び草の根の住民を右から束ねつつ、強権取・差別排外主義を強めている。とりわけ教育臨調に端的であるが、少年連を取りまく状況は変わらず、むしろ状況は厳しくなっている。

一方行政当局は、寄せ場日雇労働者の人格を一切認めず、闘う者に対しては弾圧(逮捕者100名以上)白色テロに基づく虐殺(山谷での佐藤さんの死)。失業に基づき野宿と飢餓を強制しつつ野たれ死にの現実:等々我々は、これらの状況を断じて受けいれる事はできない。

流された血をノ 奮われたかけがえない生命をノ どうして忘れることができるのか。かぎりなき悲しみは、怒りの物質化の中へ。

反差別・反失業・反ファシズムの旗のもと2周年反撃集會に結果を!!

呼びかけ人・団体

- 赤田 圭亮(横浜学校労働者組合)
- 青木 三吉(学校解放センター)
- 野木 悦(婦人民主新聞記者)
- ユンターノ有志
- 君島 幸男(全港横浜港支部)
- 神奈川刑法学協会
- 神奈川合同労組
- 神奈川労組連
- 労働情報横浜分局
- 横浜市民運動を発展させる会
- 神奈川五大学共斗
- 総評全国(親)神奈川地連全横浜職場労組
- 宇都高病院を闘争し告発する神奈川実行委
- 横浜「浮浪者」差別連続虐殺糾弾実行委
- 全国日雇労働組合協議会(日雇全協)
- 横浜ドヤーマンネットワーク
- 野々村・雇(木曜パトロールの会)
- 野識子学校
- 寿共同保衛
- 寿地区住民懇談会



1983.3.20 虐殺糾弾!追悼集會のひとこま

3.21 反撃集會 開催日時・場所

[日時] 3月21日(日) 春分の日
午後12時~3時
集会后デモ(小雨決行)

[場所] 寿公園
[主催] 日雇全協・寿日雇労働者組合
[連絡先] 横浜市中区寿町4-13-1 町内会館2F
電話 045-641-0383(鹿兒島呼び出し)
又は 045-662-5638



3/21 横浜「浮浪者」差別虐待利根戦

一周年追悼反撃集会プログラム

- ① 開会あいさつ
- ② 各戦線からの報告
 - ・日雇全協各支部
 - ・横浜「浮浪者」差別連続虐待
利根室行委員会
 - ・宇都宮病院を利根し告発する
神奈川実行委員会
- ③ 基調
- ④ 連帯あいさつ
- ⑤ 集会宣言
- ⑥ カンパマピール
- ⑦ 決意表明
- ⑧ スローガン・シヨールヒコール
- ⑨ アンターチシヨール
- ⑩ ぞもについて(行動提起)

列島中の情勢を弄えたるあの事件から二年が経過した。事件は過去の事として多くの人の心の中からは忘れ去られようとしている。

施設から見て少年たちは、アオカン中の仲間、生命を奪ったことに對して、本心に反省してゐるのだろうか。

犬を飼う、徳しとしや、思いやりの欠如。と云つて、仲間、命に三万円の値をつけ、行政

。因縁で、遺囑がありますしと、濠洲した政務家たちは、

。この事件をどこにシヨオスに取上げは然らば、新聞的であつた。又ユミは、

。アオカンズ、アオカンズの手をたしと云つて、危機感を抱いて下さつた。勿くの、

。それだけの云い分はあつた。だが、彼ら、彼ら、彼ら、彼ら、彼ら、彼ら、彼ら、

。野蠻な来儀はくされてゐる。常犯者の数は、むしろ増えている。行政は、

。行方、一方で、層級別、階級別、階級別、階級別、階級別、階級別、階級別、

。企ててゐる。戦後政治の総決算を告げかに叫び、核兵器使用を公然と云い切る中で、

。即戦便路、即戦便路、即戦便路、即戦便路、即戦便路、即戦便路、即戦便路、

。これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、

。その時代に入つてきたのだ。

。中野らの手にまひつておされ、アオカンの仲間への攻撃が、誰も此の事件を口にしない。たつたこと、その一方で、モツト大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、

。翼の密着場への登場、アオカン、アオカン、アオカン、アオカン、アオカン、アオカン、

していき、事態をヤツキリと見据え、やがては自分の身に振りかかったところ向題としこらえぬいかざり、取りかえしのつかないことにばつてしまふことを新元につけていかはければならぬ。

僥ぢぢは、この二年間、時流に押し流されることを拒否して、仲間の奮闘を彼ものとしながら、ささやかではあるが叫びがつけてきたと思ふ。年末年始の感念斗争をはじめ、山谷におきては、日雇労働者の下に結束し、天皇主義者との闘いを、**「階級闘争」**の闘争を切り刻んで弄ぶ、その命を救けらるるよう奮闘していつて半都府労働者を告発し解体する闘いを、**「狩り止み」**として送り止みの責任を認めず、一方で詰めつけを強行していつて罷免や福社行政に対して、川瀬君の死に論的に対抗された。日雇労働者が日雇労働者を拒否するようち労使の労働環境を解体する闘いを、**「労働相談・生活相談」**、アオカニ者防衛のためハトロール等の日雇労働をやりにする中で展開して来た。

僥ぢぢらにとつて、権謀事件は絶対とされることは否かばいし、又、それとともイイハコトとしてあるのだ。世間が忘れ去らうとしていつていつて、はあざらのこと、僥ぢぢらと高に叫びつづけていかはければならぬ、歴史の歯車を、いつかを道りに逆走せよといふために、半斗につづけていかはければならぬ。市民社会をも食ひ別れ、柳屋の首木の甲にあつて、とかく孤立させられがちな僥ぢぢらの運動は、これから困難な道を余儀なくされるであろう。だがしかし、差別の痛みと、人間をいぢめることに何であるかをよく知っている僥ぢぢらこそ、半斗につづけていかはければならぬのは当然のことではなかい。

僥ぢぢらは、左記に掲げる環境を労働者のための当面する具体的な方針として闘いぬいていくことを宣言する。

- 1、差別排斥主義に基く、雇役増進に対して、これを許さず徹底して糾弾する闘い。
- 1、行政の「狩り止み」や「送り止み」を阻止し、これを糾弾する闘い。
- 1、福社切り捨て、占めつけの強行をやめさせる闘い。
- 1、アフレ地帯を打ち砕き、仲間の生命と生活を守る闘い。
- 1、仲間をアオカニ者に追いやらうな。労働者機構、タクコ卸産現場を解体する闘い。
- 1、日雇労働者の天皇主義者連を尖鋭とし、寄せ場再編を許さない闘い。
- 1、三ツツ法、保身法の導入を粉砕しこいこ闘い。
- 1、**「精神医療管理体制」**を打ち砕いていこ闘い。
- 1、**「労働者連帯」**を告発し解体する闘いと、**「階級闘争」**の闘い。
- 1、**「階級闘争」**を告発し解体する闘いと、**「階級闘争」**の闘い。
- 1、階級闘争・階級法の効果を許さない闘い。

一、手配師制度の合法化と、ビニハ本の認知を日論む、労働者春運事業、法の國家上程

を阻止し、二此を廢棄せしめいふ斗い

一、教育取締り管理教育の押しつけを打倒し、中、高学校との共同斗争をうとり出す斗い

一、三里塚、二期工を阻止し、東海被爆団への重罰攻撃を粉砕しいふ斗い

一、日帝の安保、行幸、天皇崩御騒ぎを打倒し、これを粉砕しいふ斗い

一、キムスハリット社の強行を徹底粉砕しいふ斗い

一、アマリア、第三世界人民の解放闘争を連帯し、英領闘争を打ちこつていふ斗い

一、全国の「陣着者」被差別部落民をはじめとする、被差別大衆と結びいふ斗い

一、魚田の日雇い下層労働者の大同団結を押し進め、春日弟の拡大、強化、総闘争大組に

押し進めいふ斗い

一九八五年三月二十一日

三、一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百、以上